

# 市長記者会見事項書

令和元年12月19日午前10時～  
5階右側第二会議室

## 【所感】

## 【発表事項】

1. 市長が選ぶ2019松阪市10大ニュース  
(担当 秘書広報課 0598-53-4312)
2. 「令和元年度 松阪市職員アワード」を公表します。  
(担当 市政改革課 0598-53-4350)
3. 「松阪市こども家庭総合支援センター設置」について  
(担当 こども支援課 0598-53-4085)
4. 臨時『移住・空家バンク相談会』の実施について  
(担当 地域づくり連携課 0598-53-4349)
5. 雑紙（ざつがみ）回収袋を配布します  
(担当 清掃政策課 0598-53-4416)  
(担当 環境課 0598-53-4065)
6. 「松浦武四郎さん」と「本居宣長さん」に年賀状を送ろう！  
(担当 松浦武四郎記念館 0598-56-6847)  
(担当 本居宣長記念館 0598-21-0312)

## 市長が選ぶ2019松阪市10大ニュース

### 1. (2月) 南三重地域就労対策協議会を設立

松阪市の呼びかけで、松阪市以南の南三重地域6市10町で、「南三重地域就労対策協議会」を設立しました。このことにより一体的な若者就労対策の取組を始めました。

### 2. (4月) スケートパークと豪商のまち松阪観光交流センターがオープン

松阪市総合運動公園内(山下町)に県内初となるスケートパークがオープンしました。このことにより、初心者向けスクールや競技大会も開催されました。

また、魚町には観光案内やおみやげ販売、パネルシアターを見ながら松阪の歴史を学ぶことができる総合的な観光交流スポットがオープンしました。

### 3. (4月) こども医療費助成の充実

未就学児の医療機関窓口での自己負担額を、保護者の所得に応じて最大1,000円までとしました。また、こども医療費の対象年齢を「満15歳年度末まで」から「満18歳年度末まで」に拡大しました。

### 4. (6月) フルマラソンの大会概要決定

2020年12月20日(日)開催予定の県下唯一となるフルマラソン「みえ松阪マラソン」の大会概要が決定しました。

### 5. (8月) 北部学校給食センターが完成

北部学校給食センターが曾原町に建設されました。1日に最大4,500食の調理が可能です。

### 6. (8月) まつさかペットボトルロケット大会開催

第一回目となる本大会は市内外の小学校36校から48チームが参加し、県営松阪球場で開催されました。見事第一回大会の優勝チームは第一小学校の「第一坂46」チームでした。

### 7. (8月) 市内小中学校45校にエアコン設置

近年の猛暑などを受け、子どもたちが快適な環境で学習してもらうために、市内の小中学校45校(普通教室など695教室)にエアコンが設置されました。

### 8. (9月) 松阪市長選挙

任期満了に伴う松阪市長選挙が行われ、竹上市長が再選されました。

### 9. (9月) 交通死亡事故多発非常事態宣言

9月11日時点で前年を大きく上回る13人(前年比+7人)の尊い命が失われたことから、「交通死亡事故多発非常事態宣言」を発令しました。

### 10. (11月) 第70回を迎えた松阪牛まつり

「松阪牛まつり」が記念大会にふさわしく盛大に行われました。今年は5年に一度の記念大会で、特設ステージでは大人気キャラクターショーを開催。最優秀の「優秀賞一席」には大紀町の西村節生さんの「いつこ号」が選ばれ、2,600万円で落札されました。

令和元年12月19日

各報道機関 御中

連絡先	
課係名	市政改革課
担当者名	岡本
電話番号	0598-53-4350

1. 発表事項 「令和元年度 松阪市職員アワード」を公表します。

2. 「令和元年度 松阪市職員アワード」について

松阪市職員アワードは、「本市職員が互いを認め合い、高め合う組織風土を醸成し、効率的で効果的な行政経営と、質の高い行政サービスを実現すること」を目的とする職員表彰制度です。

部局長が推薦する今年度実施した取組（実施中のものも含む）の中から、市長及び副市長が特に「頑張った」と認めるものを表彰します。

※「令和元年度 松阪市職員アワード」対象部局（18部局）

秘書広報課、防災対策課、企画振興部、総務部、環境生活部、健康福祉部、産業文化部、建設部、消防団事務局、会計管理課、市民病院事務局、上下水道部、教育委員会事務局、議会事務局、農業委員会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、松阪地区広域衛生組合

3. 受賞取組について

各部局長から推薦のあった25取組の中から11取組が「令和元年度 松阪市職員アワード」を受賞しました。（詳細は別添資料をご参照ください。）

4. 表彰について

受賞取組の実施主体となった職員（受賞者）には、竹上市長が職場へ赴き、表彰状が授与されます。表彰日程は以下のとおりです。

記

と き：令和元年12月27日（金） 午後1時10分頃（終業式直後）～

ところ：各受賞者の職場にて実施

※通常業務への影響を考慮し、当日の取材は防災対策課の表彰（終業式直後）のみとさせていただきますので予めご了承ください。

以上

令和元年度 松阪市職員アワード 受賞取組一覧

部局名	推薦者	実施主体	受賞理由
秘書広報課	危機管理特命理事 鈴木 政博	秘書広報課 広報広聴係	<p>【行政情報番組制作事業】</p> <p>市民の行政情報の取得は、75%以上が「広報まっさか」から情報を得ているとのアンケート結果が出ている中、ホームページや行政チャンネルの利用率は依然として低い状態である。また、現状としても行政情報が市民に伝わりづらいと感じられることから、情報取得方法が年代により異なる状況を踏まえ、これまでの取り組みに加えSNS等を活用した新たな情報発信に取り組んでいる。</p> <p>行政チャンネルにおいても、静止画像(文字放送)の時間削減に取り組み動画情報を増やしたことや市内の各高校の特色ある取り組みを活用した連携(高校生アウンサー・番組スタジオデザイン等)、各地域の紹介や幼稚園・保育園のお昼の子どもの楽しい様子の放送など、視聴率アップを目指した取り組みを昨年から進めている。また、災害時には状況に合わせ、緊急放送で避難の呼びかけ等のきめ細かい情報発信を行った。</p> <p>これらの取り組みに対する発案や実現する努力は非常に高く評価できるものである。</p>
防災対策課	防災対策課長 船木 精二	防災対策課	<p>【一般木造住宅耐震診断事業】</p> <p>防災施策の主要事業として、現行の建築基準法の耐震基準を満たしていない昭和56年5月31日以前に建築された一般木造住宅の耐震診断を実施することで、家主に住宅の危険度を認知してもらい住宅の耐震化及び耐震補強、除却への検討を促すため本事業を推進している。</p> <p>この事業は平成15年度から職員が三重県や市建築部局等と協働して対象住宅団地等の個別訪問を行い事業の推進をしてきたが、多くの事業実施と併行して職員で訪問するにも限界があり、東日本大震災から4年を経過した平成27年度実績では109戸と年々診断戸数の減少が見られた。</p> <p>そのような中、年間100回以上の防災出前講座や防災訓練等の指導の際にも耐震対策の重要性を啓発し、また平成28年度より、多くの建築士を有する「三重県木造住宅耐震促進協議会」に年間6,000戸を目標に訪問委託を実施するようになり、専門的知見から耐震の重要性をきめ細かく説明することで、その後の実績に大きな効果が見られ、平成30年度では450戸、令和元年度も400戸と低迷期の約4倍の実績となったことは評価に値する。</p>
企画振興部	地域連携担当理事 野呂 隆生	嬉野地域振興局 地域住民課環境担当	<p>【うれしのを美しくする運動】</p> <p>「うれしのを美しくする運動」は、平成9年から嬉野自治連合会の協力を得て、美しいまちづくりと快適な生活環境の確保を目的に、地域ぐるみで実施している運動である。</p> <p>令和元年度は地元企業の参加も広がり、地域住民合わせて7,006人の参加があった。</p> <p>当初10トンを超えていたごみの量も年々減少し、今年は3.2トンとなった。また、市民の目が行き届くことによって不法投棄の多かった一志嬉野インター周辺やなめり湖、黒野地域の不法投棄が減少したほか、市民の環境美化に対する意識も向上し、地域の環境美化に大きな効果をもたらしている。</p>

令和元年度 松阪市職員アワード 受賞取組一覧

部局名	推薦者	実施主体	受賞理由
環境生活部	環境生活部長 村林 篤	戸籍住民課	<p>【マイナンバーカード普及促進事業】</p> <p>令和元年度は、地域振興局、地区市民センターに加え、企業や病院、国県の機関等へも出張窓口を拡大した。また、戸籍住民課窓口では、毎月2回の日曜窓口を開設し市民の方が利用しやすい申請交付サービスに努めた。</p> <p>また、市広報、HP、行政チャネル等で「マイナンバーカードマン」を活用したユニークな広報を継続的に実行し、新たにフリーペーパーや松阪ケーブルテレビによる啓発にも取り組んだ。</p> <p>これらの取組は、課内に組織するマイナンバーカード促進プロジェクトチームにおいてみんなで意見を出し合い進めてきたものである。</p> <p>日々の努力が功を奏し、10月末現在、約5.5%の交付率アップをはたし、申請率20.56%、交付率が17.98%で申請率、交付率ともに県内でトップである。</p>
健康福祉部	福祉担当理事 片岡 始	障がい福祉課 生活支援係	<p>【職員の積極的な関与による事務改善への取組み】</p> <p>障がい福祉課生活支援係においては、障害福祉サービスにおける来庁申請方式・提出様式の廃止を含めた見直しや地域生活支援事業の請求処理のシステム化など、担当職員の積極的な関与により、計画的に各種の事務改善を進めている。事務の簡素化及び市民サービスの向上の両立が可能な業務について見直し・再検討を行うことで、職員の時間外勤務の削減、受給者の事務手続きの負担軽減等を目指している。</p> <p>その取組の一環として、障害福祉サービスに係る受給者の紙ファイルの電子化し、これまで紙ベースだった受給者ファイルを障がい福祉システムからPDFファイルを開覧できるシステムづくりに取組み、職員の稼働時間の短縮、コスト削減、事務軽減及びリスク回避を図ることができた。</p>

令和元年度 松阪市職員アワード 受賞取組一覧

部局名	推薦者	実施主体	受賞理由
健康福祉部	こども局長 蘭部 功	こども未来課 保育幼稚園係	<p>【保育園入園基準の改善及びシステム構築】</p> <p>松阪市保育園入園基準については以前から規定はされていたが、近年低年齢児（0歳児～1歳児）及び2歳児の申し込みの増加に伴い、待機児童も多く発生（年度末には低年齢児が200人を超える）する中、第一希望等の保育園（入りたい保育園）に入園できない保護者からの要望や説明を求めるケースが年々増え続け、職員の負担もなっていた。このことから、透明性を高めるため今以上に明確化を図り、入園を希望する児童の選考を公正に実施することを目的に保育園入園基準を点数化した。</p> <p>しかし、この方法で処理を進める中、一つの障壁が発生した。市内35園（こども園除く）の受入れられる児童数枠は園により異なり、これらの要件等を考慮しながら入園する園を決定していくことが必要とされ、この処理を手作業で行うとなると膨大な日数と労力を要し、これを克服するためには点数に基づき、様々な条件を加味し、入園希望児童を的確に希望園に割り振りを行う仕組みが必要となる。</p> <p>そこで、社会人枠で入所し、当係に配属された元ITシステム会社の職員がエクセル機能を駆使し、「入園調整システム」を構築し、入園調整の処理に要する時間を劇的に短縮することができた。</p> <p>結果、本来入園すべき保育の必要性の高い児童からの入園配置が可能となるとともに、職員の負担軽減につながり、時間外勤務時間の削減も図ることができた。</p> <p>この大幅な改善やシステム構築については、入園を担当する職員やシステムを担当する職員といった個人の成果ではなく、改善等に至るまでこども未来課長以下21人の職員全員（ワンチーム）で執務時間外に幾度となく約1年を掛け協議（シミュレーション）を繰り返し、申し込みをされる保護者の目線に立ち作り上げたところに意義（価値）があると考える。</p>

令和元年度 松阪市職員アワード 受賞取組一覧

部局名	推薦者	実施主体	受賞理由
産業文化部	産業文化部長 内山 次生	文化課 文化財センター	<p>【第60回松阪市美術展覧会・はにわ館開館15周年記念特別展 「松坂を愛した稀代の画家 曾我蕭白」】</p> <p>第60回松阪市美術展覧会・はにわ館開館15周年記念特別展の企画として、松阪にゆかりのある画家「曾我蕭白」の作品のうち、県内・市内にある重要文化財や指定文化財を集めて、はにわ館だけでなく外部の施設と連携して、市民等に本物をご覧いただきたいと考えたものである。</p> <p>この特別展は、所蔵者との調整（交渉）を丁寧に行うことで、信頼関係を保つことが必要である。また、その作品（文化財）の移動（運搬）についても、特に配慮した作業を行う必要がある機関からの協力・指導を仰ぎながら知識・技術を習得しつつ慎重に行った。</p> <p>このような展示を行うためには、文化財センターが博物館としての機能を有し、はにわ館の温湿度や照度を適切に維持管理していることが認められていることが重要な要件で、文化財センター職員による日頃からの地道な取組が実を結んだものと言える。</p> <p>このことにより、好評の中、特別展への入場者は2,469人、外部連携施設の朝田寺への入場者は303人となり、10月19日から12月1日の会期中に県内はもとより、大阪、愛知、滋賀、奈良といった近府県や、東京、埼玉、栃木といった関東地方の方にも貴重な曾我蕭白作品をご覧いただくことができた。</p>

令和元年度 松阪市職員アワード 受賞取組一覧

部/局名	推薦者	実施主体	受賞理由
建設部	建設部長 長野 功	土木課 公園係及び総合運動公園管理事務所	<p>【松阪市総合運動公園 スケートパークの運営】</p> <p>松阪市総合運動公園スケートパークは、日本のスケートパークを作るという意気込みのもと、平成31年4月2日にオープンし、世界で活躍する有名選手が集いオープニングセレモニーを開催するとともに、5月19日には、日本スケートボード協会主催の中部アマチュア・サーキットを開催するなど、テレビやラジオ、新聞、雑誌でも取り上げられ、全国最大級のスケートボード場が松阪市にあることをアピールし、北は北海道、南は沖縄まで全国各地からの入場者があり、8月8日には1万人の入場者を突破し、想定を上回る来場者を集客することに成功した。</p> <p>スケートパークの運営にあたっては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNSを活用し、スケートパークの日々の開園状況や総合運動公園の情報などをリアルタイムに発信する。</li> <li>・ プロスケーターを職員として採用し、場内の監視やいつでもレッスンができる体制を整え、スケートボードの面白さ、楽しさを教える。</li> <li>・ コンクリートの障害物にはワックスを塗り滑りやすくする。</li> <li>・ 雨降りの後には、非常勤職員を含めた全員で水はけ作業を行う。</li> </ul> <p>など、「滑りやすい、楽しい」と言ってもらえ、だれもが楽しく安全に利用してもらおう施設の運営管理に試行錯誤しながら積極的に取り組んでいる。</p> <p>併せて、松阪スケートボード協会と協働して、子どもたちの育成をメインに初心者スクールや市長杯の開催など精力的に活動を行っている。</p> <p>また、日本公園緑地協会主催の都市公園等コンクールでは、国土交通大臣賞に選ばれるなど工事の施工的にも評価を得ており、更なる利用者の利便性を向上させるために、利用者の意見も聴きながら、日陰・雨よけ用のテントの設置やトイレ整備など施設整備の充実を図っている。</p> <p>このように、土木課公園係、松阪市総合運動公園管理事務所の職員が一丸となって、今年度オープンしたスケートパークを盛り上げている。</p>



令和元年度 松阪市職員アワード 受賞取組一覧

部局名	推薦者	実施主体	受賞理由
教育委員会事務局	教育長 中田 雅喜	学校支援課 子ども支援研究センター	<p>【まつさかペットボトルロケット大会】</p> <p>本事業は、松阪市教育委員会が推進している「理数教育の充実」に向けた一つの取組として、市内全小学校を対象に企画実施した新規事業であり、みえこども城、松阪青年会議所、松阪市、松阪市教育委員会が協働し開いた。事業の目的は、科学技術に興味を持つこと、仲間とともに未知なる課題に向き合い課題解決を図ること、ペットボトルロケット作成を通して、プログラミング的思考を養うこと、大会を通して他校との交流を図ることである。</p> <p>各小学校では、授業やクラブ活動等の時間を利用し、ペットボトルを材料に空気と水の力で打ち上げるロケットを製作し、打ち上げは、飛距離を競うのではなく、定点にどれだけ近づけるかを競うものとした。</p> <p>子どもたちは、グループで協力し、水や空気の量、羽の数、打ち上げる角度等を試行錯誤しながら、より正確に定点に着地するロケットを製作する姿が見られた。</p> <p>大会は、8月10日(土)に三重県営松阪野球場において、市内の小中学校チーム(4～6年生)と市外公募のチーム、計48チーム、226人(保護者等を含む総参加者数 823人)が参加した。</p>
選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局長 近田 雄一	選挙管理委員会事務局	<p>【期日前投票所の追加】</p> <p>期日前投票所は、市役所本庁と4振興局、飯高振興局3出張所の合計8か所で開設してきた。特に、市役所本庁は日ごろから駐車場が不足し、期日前投票が始まると松阪公園大口線の渋滞を招き、投票所利用者だけでなく多くの市民から苦情をいただいていた。</p> <p>本年は、4月に三重県知事・県議会議員、7月に参議院議員、9月に松阪市長の3つの選挙を控え、本庁の混雑緩和や投票者の利便性の向上を図るため、三重県知事・県議会議員選挙から松阪マームで期日前投票所の追加を決めた。この結果、市役所本庁の混雑や道路渋滞は緩和され、中でも、参議院議員選挙期間中は松阪祇園まつりの開催と重なったが、本庁における期日前投票に大きな混乱を生じることとはなく、投票の利便性向上と事務の効率化に寄与するものである。</p>
選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局長 近田 雄一	秘書広報課 広報広聴係 及び 選挙管理委員会事務局 選挙係	<p>【松阪市長選挙における市内2高校による投票呼びかけアナウンス】</p> <p>投票率全般が低下する中、若年層に選挙への関心を高めようとして、投票当日に市の広報車から投票を呼び掛けるアナウンスを、松阪高校と三重高校の放送部に収録してもらい、広報活動を実施した。さらに、松阪高校放送部では、市長選挙啓発動画を制作し「YouTube」での配信を行った。</p> <p>投票率向上に新たな取り組みをすることは、評価に値する。</p>

報道機関各社 御中

連 絡 先	
課係名	こども支援課こども家庭支援係
担当者名	荒木（課長）、林
電話番号	0598-53-4085

## 1. 発表事項 「松阪市こども家庭総合支援センター設置」について

### 2. 目的

基礎的な地方公共団体である市町村は、子どもの最も身近な場所における子どもの福祉に関する支援業務を行うことが役割・責務とされています。子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、実情の把握、相談全般から通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務までを行う機能を担う拠点をつくるのが国の「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」において、令和4年度までにすべての市町村に設置することとされています。

松阪市においては「支援拠点」すべての業務を「こども支援課こども家庭支援係」が担っており、また、設置要件（職員配置等）にも適合するため、令和2年1月1日付にて要綱を制定し、子ども家庭総合支援拠点を設置します。

なお、支援拠点とは物理的な場所ではなく、機能の設置であり、新たな施設を作るものではありません。

支援拠点（松阪市においては「松阪市こども家庭支援総合支援センター」）が調整機関の主担当機関を担うことで、支援の一体化、連続性を確保し、児童相談所をはじめとする関係機関との更なる円滑な連携・協働の体制を推進します。

### 3. センター化の効果

県の専門機関である児童相談所が主体となり支援業務を行っていますが、センター化することにより児童相談所と対等な機関として、県・市それぞれの役割（専門性）を明確にし、連携・協働を図ります。

（児童相談所・・・一時保護・措置 / こども家庭総合支援センター・・・在宅支援）

### 4. 設置年月日 令和2年1月1日

### 5. 県内の状況 令和元年12月1日時点で三重県内においては、子ども家庭総合支援拠点が設置されている自治体はありません。 県下29市町において初めての設置となります。

## 6. 備 考

### センター化の要件

#### ・業務内容

- ① 子ども家庭支援全般に係る業務（実態の把握、情報の提供、相談等への対応等）
- ② 要支援児童及び要保護児童並びに特定妊婦等への支援業務（調査、アセスメント、支援等）
- ③ 関係機関との連絡調整

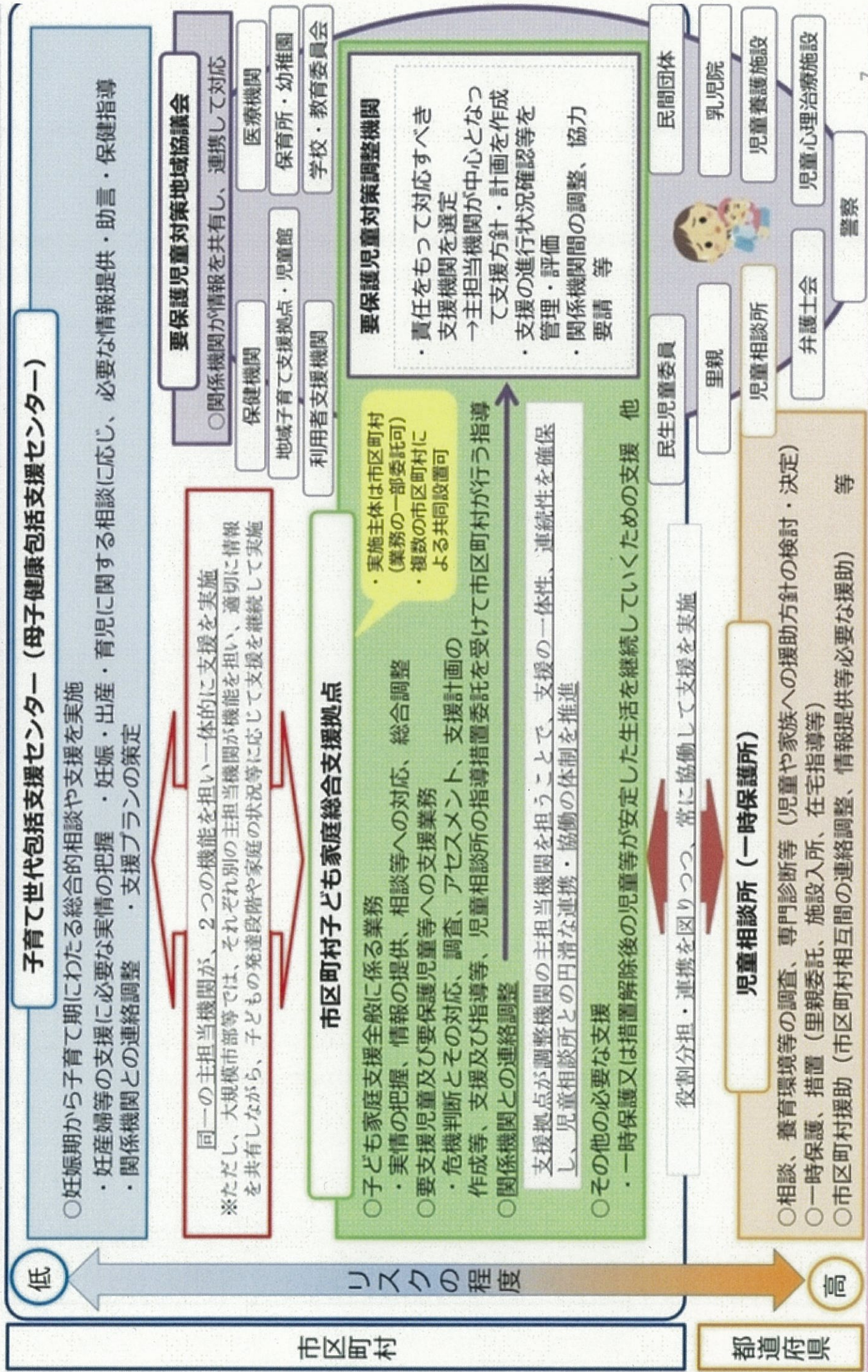
#### ・設備・器具

相談室、親子交流スペース、鍵のかかる書庫、相談管理記録システム等

#### ・人員体制

人員配置は児童人口規模に応じており、こども支援課こども家庭支援係職員 8 名のうち 6 名が人員配置の要件（子ども家庭支援員 2 名、虐待対応専門員 2 名の計 4 名）を満たしています。

# 市区町村における児童等に対する必要な支援を行う体制の関係整理（イメージ図）



\* 子育て世代包括支援センターや市区町村子ども家庭総合支援拠点の設置に当たっては、同一機関が2つの機能を担うなどの設置方法を含め、各市区町村の母子保健及び子ども家庭相談の体制や実情に応じて検討すること。

令和元年12月19日

報道機関各社 御中

連 絡 先	
課係名	地域づくり連携課 移住促進係
担当者名	村林・内田
電話番号	53-4349

1. 発表事項 臨時『移住・空家バンク相談会』の実施について
2. 概 要 松阪市の人口減少が進む中、移住・交流人口の増加を目的に平成29年度より移住相談総合窓口を開設したが、土日の相談希望が多くあることから、令和2年1月よりモデル的に臨時『移住・空家バンク相談会』を実施し、移住促進担当者をご相談をお受けします。
3. 実施日 令和2年1月5日（日）、19日（日）  
2月2日（日）、16日（日）  
3月1日（日）、15日（日）
4. 実施時間 10:00～16:00（6H）
5. 場 所 飯高茶屋（道の駅 発創の里）内の特設デスク  
松阪市飯高町宮前177
6. 内 容 ①移住に関する相談  
②空家バンクに関する相談
7. 参加費 無料
8. 対 象 者 ・松阪市への移住をお考えの方  
・松阪市 中山間地域の空家をお探しの方  
・松阪市 中山間地域の空家を売りたい・貸したいとお考えの方
9. 申し込み・問い合わせ  
地域づくり連携課 移住促進係  
松阪市殿町1340番地1  
Tel 0598-53-4349 Fax 0598-22-1377  
E-meil [commu.div@city.matsusaka.mie.jp](mailto:commu.div@city.matsusaka.mie.jp)

令和元年12月19日

報道機関各社 御中

連絡先	
課係名	清掃政策課、環境課
担当者名	竹川（清掃政策担当参事） 荒川（環境課長）
電話番号	53-4416（清掃政策課） 53-4065（環境課）

### 1. 発表事項

雑紙（ざつがみ）回収袋を配布します

### 2. 目的

雑紙（ざつがみ）が資源物であることを認識していただき、正しく排出していただくための啓発

### 3. 日時

令和元年12月21日（土）から

### 4. 配布場所

松阪市リサイクルセンター、三雲リサイクルセンター、松阪市クリーンセンターの資源物受付及び飯南飯高環境事務所にて

### 5. 配布部数

14,000部（無くなり次第終了）

### 6. 協賛

作成費用の全額を松阪新電力㈱が協賛

### 7. 内容

市では燃えるごみを構成する種類とその割合を調査する「組成分析」を行っています。その結果、燃えるごみに含まれる紙類は、およそ50%を占めています。燃えるごみとして排出される紙類の中には資源物として扱える紙類も多数含まれていることから、資源として排出できる紙の種類と、出し方の周知を図るため、資源物を出しに来ていただいた方を対象に「雑紙回収袋」の配布を行います。

細かな紙類も紙袋に入れて排出することができることを周知することにより、燃えるごみを減らし、資源物を増やす取り組みにつなげます。

この袋は、紙類の分別の推進・啓発と、燃えるごみを活用して市公共施設に電力供給を行う松阪新電力㈱の事業のPR等を目的に作成したものであり、作成費用は松阪新電力㈱から全額協賛をいただいています。

#### 8. 協賛の経緯

松阪新電力㈱は、松阪市が東邦ガス、第三銀行、桑名三重信用金庫と共同で設立した地域新電力会社であり、当市クリーンセンターにおいて、ごみの焼却熱を利用して発電した電力を市の公共施設に供給する事業を行い、当市と協働して「エネルギーの地産地消」等に取組んでいます。

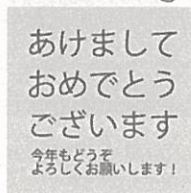
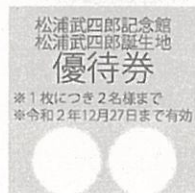
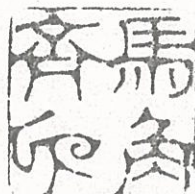
このような中、松阪新電力㈱と当市（環境課）では、同社の事業や「エネルギーの地産地消」等の協働取組をPRするにあたり、これらが「ごみ発電」を原点としており、廃棄物行政と深い関わりがあることから、市の廃棄物行政と関連付けたPRがより有効であると考え、同時期に企画検討中であった雑紙回収袋への協賛に至りました。

令和元年12月19日

報道機関各社 御中

連絡先	
課名	文化課 松浦武四郎記念館
担当者名	川村、山本
電話番号	56-6847

1. 発表事項 松浦武四郎さんに年賀状を送ろう！
2. 内容 武四郎さんへ年賀状を出していただく企画も今回で4回目となりましたが、来年も武四郎さんに年賀状を出してくださる方を募集します。年賀状を出していただいた方には、松浦武四郎 記念館から記念館と松浦武四郎誕生地へのご招待券がついたお返事をお送りしますので、みなさまからの年賀状をお待ちしております。
3. 送り先 〒515-2109 三重県松阪市小野江町 383 番地  
松浦武四郎さん 宛て  
※返信のため、お送りいただく方のお名前やご住所をご記入ください。
4. 受付期限 令和2年(2020)1月15日(水)まで ※当日消印有効
5. 招待券 令和2年(2020年)12月27日(日)まで有効  
招待券1枚で2名様まで松浦武四郎記念館と松浦武四郎誕生地を無料でご見学いただけます(招待券の使用は1回まで)。  
※記念館からの「招待券」がついたお返事は、順次お届けいたします。
6. その他 今回返信する年賀状のデザイン  
※ 過去の実績 (平成29年の年賀状から募集開始)  
平成28年度(平成29年 年賀状) → 128枚  
平成29年度(平成30年 年賀状) → 104枚  
平成30年度(平成31年 年賀状) → 212枚





令和元年12月19日

報道機関各社 御中

連 絡 先
公益財団法人鈴屋遺蹟保存会 本居宣長記念館 電話 21-0312 Fax 21-0371

1. 発表事項 松阪の生んだ偉人「本居宣長さん」に年賀状を送ろう！
2. 内 容 今年も残すところ10日余りとなり、まもなく新しい年を迎えます。松阪市が生んだ国学者・本居宣長、毎年春には、宣長まつりを開催しています。本居宣長記念館では昨年に引き続き、「本居宣長」に年賀状を出してくださる方を募集します。  
年賀状を出していただいた方には、「宣長さん」から、本居宣長記念館への招待券がついたお返事をお送りしますので、みなさまからの年賀状をお待ちしております。
3. 送 り 先 〒515-0073 三重県松阪市殿町 1536-7  
「本居宣長（もとおりのりなが）宛」  
※返信のため、お送りいただく方のお名前やご住所をご記入ください。
4. 受付期限 2020年（令和2年）1月15日（水）まで ※当日消印有効
5. 招待券 2020年（令和2年）12月27日（日）まで有効  
招待券1枚で2名様まで本居宣長記念館を無料でご見学いただけます。  
（招待券の使用は1回まで）  
※宣長さんからの「本居宣長記念館招待券」がついたお返事は、順次お届けいたします。
6. その他 返信する年賀状のデザイン  
※ 過去の実績（平成29年の年賀状から募集開始）  
平成28年度（平成29年 年賀状）→ 128枚  
平成29年度（平成30年 年賀状）→ 66枚  
平成30年度（平成31年 年賀状）→ 106枚

